

<p>特定非営利活動法人 赤煉瓦倶楽部舞鶴</p>		<p>NPO法人 赤煉瓦倶楽部舞鶴 会報 発行人/理事長 馬場 英男 〒625-0036 舞鶴市浜 247 番地 (3階) TEL/090-3281-7539 FAX/0773-63-9764 E-mail brick@iris.eonet.ne.jp</p>	
<p>会報 95号 平成 28年 1月 1日</p>		<p>「NPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴」ホームページ http://www.redbrick.jp/</p>	

謹 賀 新 年 皆様のお幸せをご祈念申し上げます

1. 「赤煉瓦ネットワーク舞鶴大会」開催報告 **理事長 馬場 英男 (会員No.8)**

さる11月14日(土)・15日(日)の二日間、全国の赤煉瓦ネットワーク会員を迎え開催した舞鶴大会を無事終える事が出来ました。14日のシンポジウムに109名、懇親会には75名の参加があり、15日の見学会にはAコースに28名、Bコースに41名の参加がありました。また、参加者の都市別では、北海道江別市、新潟県糸魚川市・上越市、群馬県富岡市・前橋市、福島県会津若松市、茨城県阿見町、東京都、神奈川県横浜市・川崎市、愛知県半田市・名古屋市・碧南市・知多市・大府市、岐阜県岐阜市、大阪府大阪市・富田林市、福井県敦賀市、京都府京都市、山口県美祢市、愛媛県大洲市、福岡県北九州市及び開催地で24都市と全国から多くの皆様がお越しいただきました。あいにく、雨交じりの天候でしたが、久しぶりに集い交流を深め情報交換を行った有意義な二日間でした。以下、順を追って報告します。

■ 一日目 11月14日(土) シンポジウムおよび懇親会

① 赤れんがパーク2号棟(市政記念館ホール)にてシンポジウム開催 14:00~16:30



シンポジウム会場の赤れんが2号棟



司会 吉岡博之 赤煉瓦倶楽部舞鶴理事



開会挨拶 馬場英男理事長



来賓挨拶 木村 学 舞鶴市副市長



基調講演 田原幸夫 京都工芸繊維大学特任教授



会場の様子

〔基調講演〕「都市を彩る煉瓦建造物 ―文化遺産として守るべきもの―」

ベルギーにて歴史的都市と建築の保存修復を研究された経験から、本物と偽物の違いに触れ、日本のファサード保存の例を紹介、保存理念以前のものとの否定、東京駅丸の内駅舎復原設計の理念を具体的に説明された。保存のポイントとして、出来るだけ手を加えず、可逆性の保存に心掛ける事、プロセスを正しくして保存方針を導き出すことの大切さを力説された。



シンポジウム会場



活動報告(左から、内藤恒平事務局長・石原雅章さん・馬場信雄さん・池田裕太郎さん)

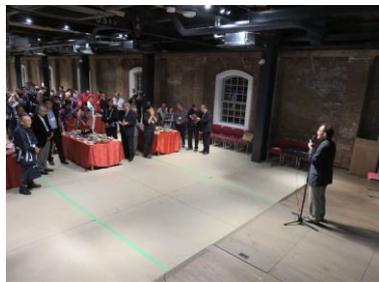


赤煉瓦倶楽部半田の日本福祉大学学生の紹介



仲原正治運営委員から規約改正の提案、全会一致で承認

② 懇親会 赤れんがパーク4号棟(赤れんが工房) 17:30~19:30



日向進 赤煉瓦倶楽部舞鶴副理事長 挨拶



退任の内藤恒平事務局長に感謝状贈呈



佐藤裕之の舞鶴市教育長の挨拶・乾杯



懇親会場



富岡大会で約束し奮発したタグ付き「舞鶴かに」



皆で歌った「舞鶴 煉瓦道ひとすじに」

【舞鶴 煉瓦道ひとすじに】 作詞・作曲：内藤恒平 編曲：近藤裕明

- | | |
|--|--|
| <p>1 京都 舞鶴 すくれたものは 五老の眺めと 東西港
事務所に講堂 工場 倉庫 まちの風景は 煉瓦色</p> <p>2 京都 舞鶴 見つけたものは 市役所仲間の 探偵団
まちの魅力と 個性をつくる 仲間のこころも 煉瓦色</p> <p>3 京都 舞鶴 あなたの夢は 赤煉瓦倉庫の 博物館
夏の夜の ジャズ祭の 素敵な響きに 魅せられて
清滋さんの夢をかたろうよ 煉瓦道 まっすぐに
清滋さんの夢をつづけよう 煉瓦道 ひとすじに</p> | <p>丹後神崎 ホフマン窯は 不眠不休で 煉瓦を焼いた
むかしの夢をつづけよう 煉瓦道 ひとすじに</p> <p>つわもの揃い 藪に分け入り まちを歩いて 煉瓦さがし
夢と想いをつなげよう 煉瓦道 ひとすじに</p> <p>赤煉瓦饅頭 赤煉瓦浪漫 まちの名物 煉瓦づくし
みんなの夢をつづけよう 煉瓦道 ひとすじに
清滋さんの夢をひきつごう 煉瓦道 まっすぐに
清滋さんの夢をひろげよう 煉瓦道ひとすじに ひとすじに</p> |
|--|--|

《赤煉瓦倶楽部舞鶴理事の森口清滋さんが昨年3月に57歳の若さで他界しました。彼を思いで歌いました》



懇親会参加者全員で記念撮影 (舞鶴から半田に横断幕引渡し、本年11月5日・6日半田大会予定)

■ 二日目 11月15日(日) 見学会

- ① Aコース (JR東舞鶴駅前集合 → 東郷邸 → 海軍記念館 → 北吸配水池 → 赤れんが博物館 → 昼食 → とれとれセンター → 西舞鶴駅前 [解散] → 東舞鶴駅前 [解散])



舞鶴地方総監部会議所「東郷邸」(旧長官官邸)



舞鶴地方総監部内「海軍記念館」(旧海軍機関学校講堂)

M34 開庁の舞鶴海軍鎮守府初代長官・東郷平八郎着任時2年間過ごした ↑ 昭和8年建設 鉄骨造り平屋建

※海上自衛隊舞鶴地方総監部所管の各施設の見学に際し、ご案内をいただいた広報係の上田徹さんには大変お世話になりました。舞鶴ロケ映画「日本のいちばん長い日」のロケ時の話題などユーモアある説明楽しかったです。



北吸(きたすい)第一配水池(上部から)



北吸第一配水池内・導水壁高5.6m



昼食 「BONO」にて

M34年10月完成 石張り鉄筋コンクリート造・導水壁は煉瓦造

- ② Bコース (JR東舞鶴駅前集合 → 舞鶴引揚記念館 → 赤れんが博物館 → 神崎ホフマン窯 → とれとれセンター → 昼食 → 西舞鶴駅前 [解散] → 東舞鶴駅前 [解散])



舞鶴引揚記念館

(H27年10月世界記憶遺産登録)

[撮影：飯島悦郎さん]



舞鶴市立赤れんが博物館

(H5年11月オープン)

[撮影：隅垣とし子さん]



昼食 「舞鶴グランドホテル」にて

[撮影：隅垣とし子さん]



神崎ホフマン輪窯にて記念撮影

(M30年登り窯で煉瓦製造、大正末期にホフマン窯に改良、昭和33年頃生産中止後放置、平成11年国の登録有形文化財に登録、平成15年競売で現財団が取得、平成24年から改修工事を行い平成25年5月完成、今後は国の重要文化財指定を目指す。)
[小野章さん写真提供]

※神崎ホフマン輪窯の見学に際し、所有者の(公財)舞鶴文化教育財団さんには特別に見学を許可いただき、当日はご案内までいただき大変お世話になりました。また、貴重な冊子までいただき誠にありがとうございました。

2. 編集後記

事務局

今年もあとわずかとなり、この会報を編集しながら、15年ぶりに誘致した3回目の舞鶴大会を無事終えたのだと実感しています。昨年の富岡大会から一年間、法人理事で協議を重ね、記憶に残る集大成の大会となるよう努めてきました。多々不行き届きな点があった事と思いますが、たくさんの方から謝意のお言葉をいただきました。本当にご協力ありがとうございました。半田大会には、舞鶴からも大勢で出かけ大会を盛り上げ交流したいと考えています。

今後も、当法人の目的・趣旨に沿った活動を継続したいと考えていますので、倍旧のご協力、ご支援をどうかよろしくお願ひします。(b)

会 員 資 格： 会費納入者(特別会員は除く)。入会金1,000円、年会費(個人2,000円、法人10,000円)。

なお、会員申込用紙は、ホームページからダウンロードできます。ご寄附も受け付けます。

会費・寄付金等 振込先： ゆうちょ銀行 口座番号 (01010-6-21476) 加入者名：赤煉瓦倶楽部舞鶴

